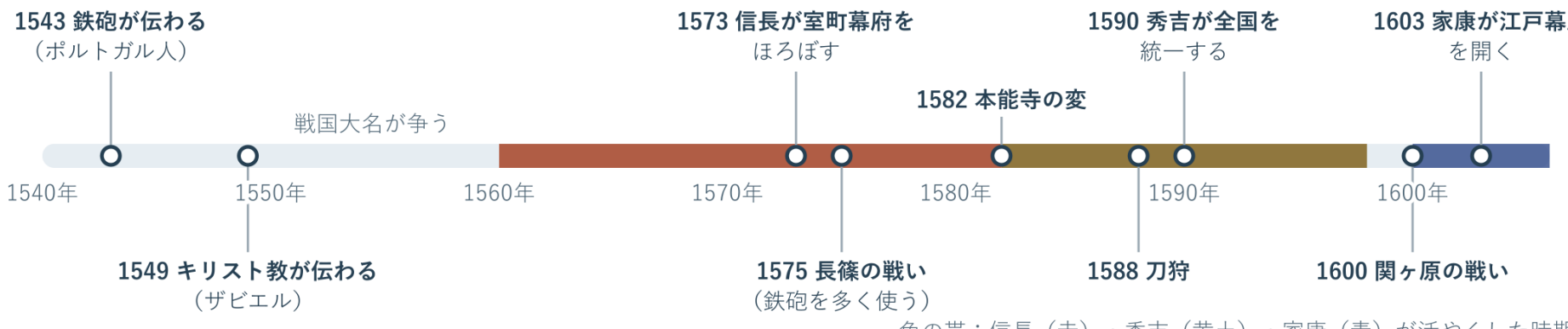
天下統一への歩み

戦国の世は、どのようにして統一されたか



色の帯：信長（赤）・秀吉（黄土）・家康（青）が活やくした時期



織田信長

鉄砲を多く使った戦い方で、
勢力を広げた
安土城を築き、楽市・楽座で
商工業をさかんにした
キリスト教を保護した



豊臣秀吉

検地：田畑の広さや収穫量を
調べ、年貢を確実に集めた
刀狩：百姓から武器を取り上げ、
武士と百姓の区別をはっきりさせた
大阪城を築き、全国を統一した



徳川家康

秀吉の死後、関ヶ原の戦いに勝ち、
全国の大名を従えた
1603年、征夷大将軍になって
江戸に幕府を開いた
（約260年続く江戸時代へ）

※ 人物は役割を表す記号で、似顔絵ではない。年は、教科書で一般的な年を示した。